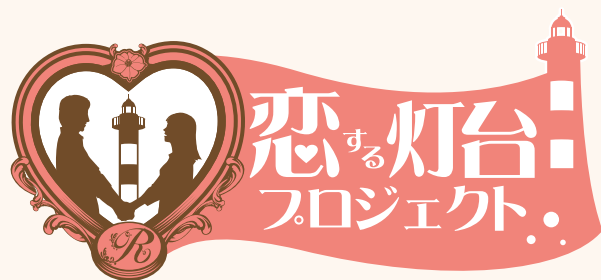


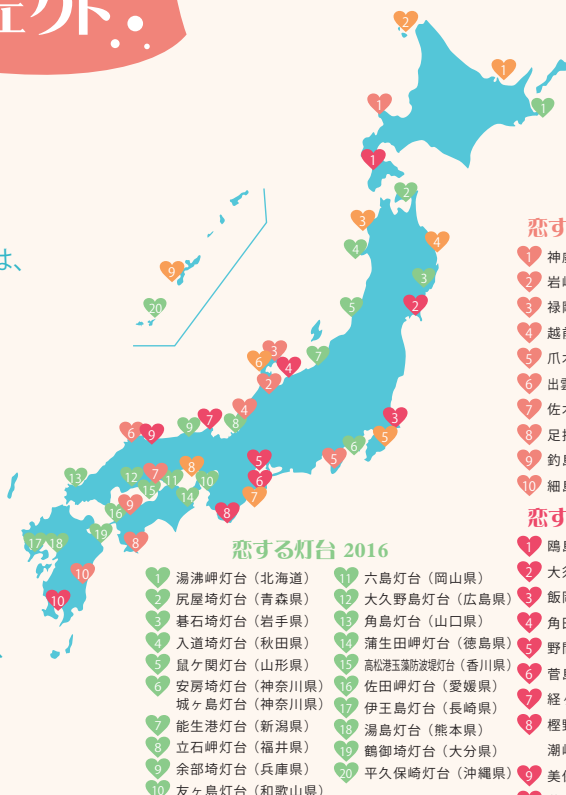
海と日本PROJECT

海と日本PROJECTは日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。私たちを支えてくれる海の現状を伝え海を未来へつないでいくためのアクションの輪を日本全国に広がっていきます。



未来を照らす灯台が、ふたりの道標になる。

どこまでも広がる青い空と海に、
 気高く存在し続ける白亜の塔。
 晴れの日も、荒れ狂う嵐の日も、
 大海原を照らし続けてきた灯台の光は、
 “人生の道標”のようであり、
 “未来に進む勇気”を
 与えてくれるような気がする。
 恋に悩み、夢に迷ったとき、
 灯台に行こう。
 愛し合うふたりが、
 未来を誓い合うとき、灯台に行こう。
 そんな、夢見るチカラ、
 恋するチカラを与えてくれる灯台を、
 “恋する灯台”と呼んでみる。



恋する灯台 2016

- 1 湯沸岬灯台 (北海道)
- 2 尻屋崎灯台 (青森県)
- 3 碓石崎灯台 (岩手県)
- 4 入道崎灯台 (秋田県)
- 5 鼠ヶ関灯台 (山形県)
- 6 安房崎灯台 (神奈川県)
- 7 城ヶ島灯台 (神奈川県)
- 8 能生港灯台 (新潟県)
- 9 立石岬灯台 (福井県)
- 10 余部崎灯台 (兵庫県)
- 11 友ヶ島灯台 (和歌山県)

- 12 六島灯台 (岡山県)
- 13 大久野島灯台 (広島県)
- 14 角島灯台 (山口県)
- 15 蒲生田岬灯台 (徳島県)
- 16 高松港防波灯台 (香川県)
- 17 佐田岬灯台 (愛媛県)
- 18 伊王島灯台 (長崎県)
- 19 湯島灯台 (熊本県)
- 20 潮御崎灯台 (大分県)
- 21 平久保崎灯台 (沖縄県)

恋する灯台 2017

- 1 神威岬灯台 (北海道)
- 2 岩崎ノ鼻灯台 (富山県)
- 3 祿剛崎灯台 (石川県)
- 4 越前岬灯台 (福井県)
- 5 爪木崎灯台 (静岡県)
- 6 出雲日御崎灯台 (島根県)
- 7 佐木島灯台 (広島県)
- 8 足摺岬灯台 (高知県)
- 9 釣島灯台 (愛媛県)
- 10 細島灯台 (宮崎県)

恋する灯台 2019

- 1 能取岬灯台 (北海道)
- 2 鷺泊灯台 (北海道)
- 3 雄作崎灯台 (青森県)
- 4 陸中黒崎灯台 (岩手県)
- 5 太東崎灯台 (千葉県)
- 6 能登観音崎灯台 (石川県)
- 7 大王崎灯台 (三重県)
- 8 江崎灯台 (兵庫県)
- 9 残波岬灯台 (沖縄県)

恋する灯台 2018

- 1 鴨島灯台 (北海道)
- 2 大瀬崎灯台 (宮城県)
- 3 飯岡灯台 (千葉県)
- 4 角田岬灯台 (新潟県)
- 5 野間崎灯台 (愛知県)
- 6 菅島灯台 (三重県)
- 7 経ヶ岬灯台 (京都府)
- 8 檉野崎灯台 (和歌山県)
- 9 潮岬灯台 (和歌山県)
- 10 美保関灯台 (島根県)
- 11 薩摩長崎鼻灯台 (鹿児島県)

埋もれていた「灯台」の文化や歴史的価値を可視化し、各地域の強力な観光資源とするために、灯台を『恋する灯台』というロマンスの聖地として認定し再価値化する。『恋する灯台』というキーワードを軸に、地域が主体になって盛り上げていく機運を高め、灯台への集客アップを図ります。灯台を訪れることで、海へ関心をもつ人が増加することを最終目的として活動します。



さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクト。



日本ロマンチスト協会

「地球環境や世界平和も大事ですが、ロマンチストという“大切な人を世界で一番幸せにできる人”が増えると、夫婦環境や恋人環境ばかりか、社会全体が豊かになるかもしれない」、ということに気がついたトキメク大人たちがはじめた秘密結社。長崎県雲仙市愛野町を「ロマンチストの聖地」として本部を設置し、2008年5月より活動を開始。

LIGHTHOUSE FOR LOVERS

恋する灯台

未来を照らす灯台が、ふたりの道標になる。

どこまでも広がる青い空と海に、気高く存在し続ける白亜の塔。

晴れの日も、荒れ狂う嵐の日も、大海原を照らし続けてきた灯台の光は、人生の道標のようであり、未来に進む勇気を与えてくれるような気がする。

恋に悩み、夢に迷ったとき、灯台に行こう。

愛し合うふたりが、未来を誓い合うとき、灯台に行こう。

そんな、夢見るチカラ、恋するチカラを与えてくれる灯台を、

恋する灯台と呼んでみる。

未来を照らす灯台が、ふたりの道標になる。



恋する灯台ホームページ
<http://romance-toudai.uminohi.jp>



恋する灯台ホームページ
<http://romance-toudai.uminohi.jp>



日本ロマンチスト協会



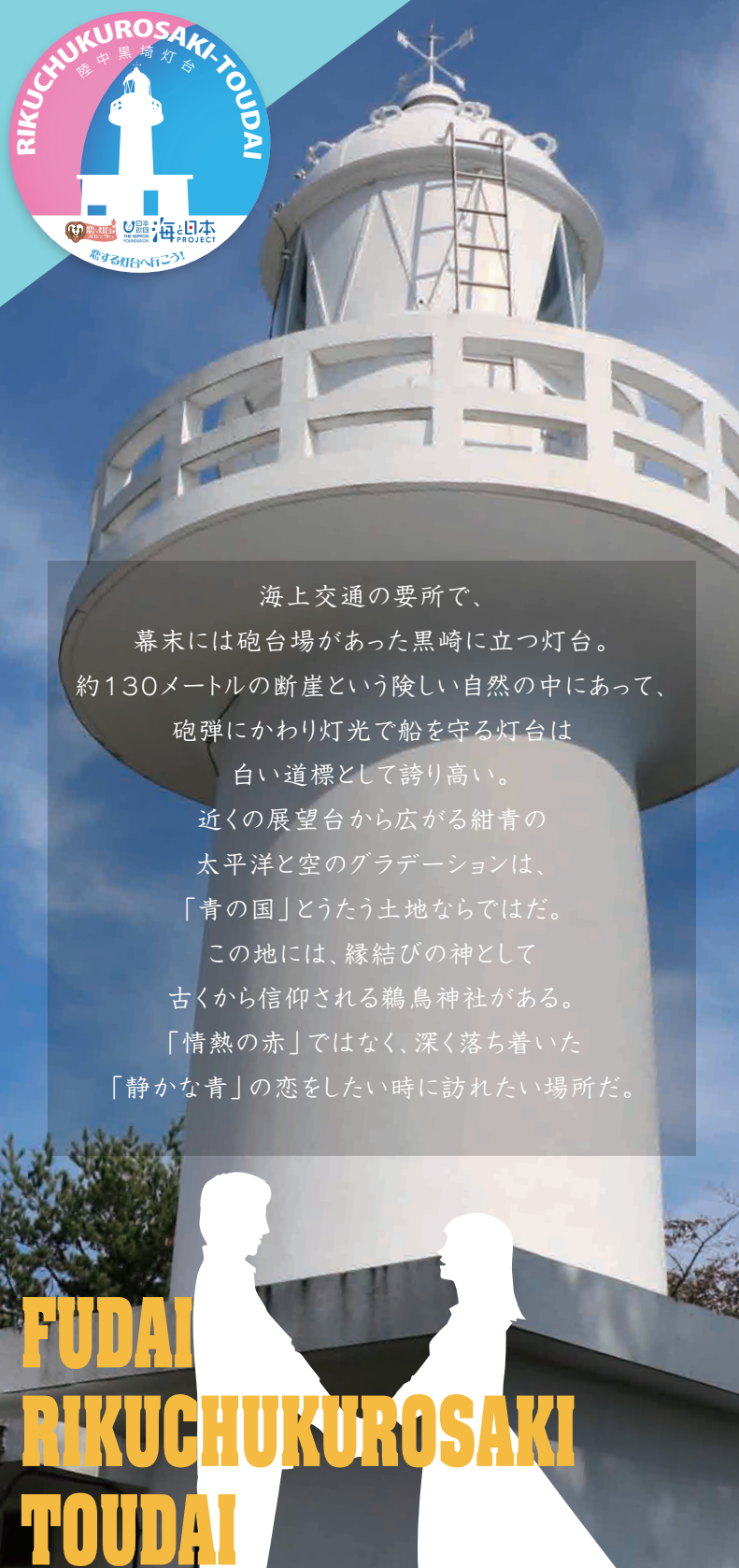
恋する灯台プロジェクト
<http://romance-toudai.uminohi.jp>

恋する灯台

検索

【このフライヤーに関するお問い合わせはこちら】

一般社団法人日本ロマンチスト協会 mail : toudai@japan-romance.com URL : <http://romance-toudai.uminohi.jp/> URL : <http://japan-romance.com/>



海上交通の要所で、

幕末には砲台場があった黒崎に立つ灯台。
約130メートルの断崖という険しい自然の中であって、
砲弾にかわり灯光で船を守る灯台は
白い道標として誇り高い。

近くの展望台から広がる紺青の
太平洋と空のグラデーションは、
「青の国」とうたう土地ならでだ。
この地には、縁結びの神として
古くから信仰される鵜鳥神社がある。
「情熱の赤」ではなく、深く落ち着いた
「静かな青」の恋をしたい時に訪れたい場所だ。

恋のスポットで2人の絆を深めよう

縁結びの神が祀る 「鵜鳥神社」

豊漁や海上安全、縁結び、安産の神が祀られた神社。山頂にある「結び松」が有名で、男性は左手、女性は左手で松の枝を結び合わせると願いが叶うとの言い伝えもあります。樹齢1000年以上と言われる夫婦杉や、本殿の屋根に隠れたハートマークも必見。おみくしには「大々吉」があり、当たればきっと良いことがあるかも♪



住所	下閉伊郡普代村第25地割字卯子西13番地
電話番号	0194-35-2339 (鵜鳥神社社務所)
営業時間	なし
定休日	なし

地域が誇る伝統芸能を堪能しよう



大漁の祈りが 込められた 「鵜鳥神楽」

国の重要無形民俗文化財に指定された、普代村の伝統芸能。五穀豊穡、大漁祈願の意味が込められ、三陸を巡業する「廻り神楽」として知られています。中でも、恵比寿様が鯛を釣り上げる様子を描いた「恵比寿舞」は大人気の演目で、観客が神楽に参加することも。恵比寿様と一緒に、気になるあの子を釣りあげよう!

住所	下閉伊郡普代村第25地割字卯子西13番地
電話番号	0194-35-2339 (鵜鳥神社社務所)
営業時間	なし
定休日	なし

鉄道の中からリアスの絶景を眺めよう

朝ドラのロケ地で 有名な 「大沢橋梁」

日本一長い第三セクター鉄道「三陸鉄道」。その中でも一番の絶景スポットとして知られ、朝ドラ「あまちゃん」では、夏っぱがアキや春子が大漁旗で見送るシーンでも有名です。また、ドラマでは「袖ヶ浜駅」として描かれた堀内駅もこの近く。写真を撮るもよし。目に焼き付けるもよし。三鉄に揺られながら、リアスの海を楽しもう!



住所	下閉伊郡普代村第20地割
電話番号	0193-62-7000 (三陸鉄道(株) 旅客営業部)
営業時間	なし
定休日	なし

未知なる味覚のコラボを体験しよう



塩味が効いた 「昆布ソフトクリーム」

普代村の昆布を粉末にして練りこんだソフトクリーム。奇妙な組み合わせと思いきや、侮ることなかれ。濃厚なバニラ味と、昆布のほのかな塩味との相性は抜群です。三陸鉄道普代駅に直結するアンテナショップ「あいで」のみで売られている限定商品。仲良ぐシェアすれば、2人の「愛で」ソフトクリームが溶けちゃうかも…?

住所	下閉伊郡普代村第9地割字銅屋5-3 三陸鉄道普代駅内
電話番号	0194-35-2411
営業時間	6:00～17:00 (平日)、8:00～17:00 (土日祝)
定休日	なし

普代に広がる青の世界を満喫しよう



住所	下閉伊郡普代村第2地割字下村84番地4
電話番号	0194-35-2611
営業時間	なし
定休日	なし

絶景が望める 「国民宿舎くろさき荘」

陸中黒崎灯台の隣にあるホテル。標高150mの断崖縁に立ち、大浴場の窓から望むオーシャンビューは絶景。広大な空と海が一面に広がった、「青」の世界を満喫できます。晴れた日にはまぶしい朝日を見て、旅の疲れをリフレッシュ。普代の大自然を眺めながら、ここでホッと一息、心と体を癒してみたいかが。

栄養たっぷりの特産品を味わおう

おみやげにも ピッタリな 「すき昆布」

昆布を細かく刻み、シート状にして乾燥。普代村の代名詞とも言える特産品で、今でも地元住民から根強く愛されています。三陸の海で育まれた昆布はふっくら肉厚で柔らかく、カルシウム、ビタミン、ミネラルなどの栄養も満点。旅のお土産としてもおススメです。すき昆布を食べれば、互いの「好き」の気持ちも膨れ上がるはず☆



住所	下閉伊郡普代村第9地割字銅屋5-3 三陸鉄道普代駅内
電話番号	0194-35-2411
営業時間	6:00～17:00 (平日)、8:00～17:00 (土日祝)
定休日	なし

波打ち際を2人で騒ぎながら歩こう



幻想的な世界が広がる 「ネダリ浜」

南北が岩で囲まれていて、まるでプライベートビーチのような場所です。およそ150mの自然歩道は「みちのく潮風トレイル」のルートの一部。断崖と磯場の険しい波打ち際をワイワイ楽しみながら歩けば、2人の距離もぐっと縮まること間違いなし。ネダリ浜だけに、ここに行けば恋の「おねだり」ができるかも…!?

住所	下閉伊郡普代村黒崎
電話番号	0194-35-2411 (株式会社青の国ふだい)
営業時間	なし
定休日	なし

命の尊さを2人で一緒に確かめ合おう

住民の暮らしを守る 「普代水門」

2011年に発生した東日本大震災で、大津波から集落を守り抜いた「奇跡の水門」です。明治、昭和と過去2度の水災に襲われた普代村。建設当初は住民の反対もありましたが、この水門のおかげで東日本大震災での住宅被害はゼロにおさまりました。どんなことがあっても必ず命を守る。そんなメッセージが宿った場所です。



住所	下閉伊郡普代村第7地割字明神
電話番号	0194-35-2115 (普代村観光協会)
営業時間	なし
定休日	なし

光る砂浜で2人の時間を過ごそう

白砂が鮮やかな 「普代浜園地キラウミ」

北から南まで約600mに広がる弓状の砂浜。三陸では珍しい白砂で、壮大な海の青とキラキラした雲母が一面に光り輝きます。夏のシーズンは、海水浴はもちろん月1回のビーチヨガも開催。近くには産直もあり、海の幸を味わうことも可能です。恋人とのデートはもちろん、子どもができれば家族みんなで足を運びたい場所です。



住所	下閉伊郡普代村
電話番号	0194-35-2115 (普代村観光協会)
営業時間	なし
定休日	なし

恋する灯台のまち、 普代村へようこそ

「陸中黒崎灯台」のある岩手県普代村では、

様々な“青”色に会うことができます。

遠い空には“水色”がにじみ、それが

グラデーションを描きながら“空色”になっていきます。

その真下には“紺色”や“藍色”、“群青色”、“瑠璃色”

など、ありとあらゆる青色が黒崎やネダリ浜、キラウミなど、

村の各地で見ることができるのです。

見たことがない青色、心に残る青色、誰かに伝えたい青色が

普代村にはあるのです。

「青の国 ふだい」。いらしてみてください。